加盟館紹介

北海道医療大学総合図書館：成人式を終えたばかりの図書館

高 垣 卯 八*

北海道医療大学総合図書館

このたびは、本学図書館をご紹介する機会を与えていただき、誠に有り難うございます。

本学は成人式を迎えたばかりの若い大学ですが、多くの方々の暖かいご支援をいただき、お陰様で平成6年10月に開学20年を迎えることができました。また、この20周年を機に、校名を学部・学科構成に則した名称にとの考えから、平成6年4月より東日本学園大学から「北海道医療大学」に改称いたしました。

このようなことで歴史も浅く、校名変更をして間もないこと等もあり、多分本学をご存じない方が多いと思われますので、はじめに本学の沿革を紹介させていただきます。

本学は、昭和49年4月に薬学部のみの一学部で開学し、その後昭和53年4月に歯学部、次いで平成5年4月に看護福祉学部を開設いたしました。そのほかに、「北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校」、および看護学科、介護福祉学科、言語聴覚療法学科を備えた「札幌医療福祉専門学校」を併設しております。

医学部は設けておりませんが、これからますます進むことが予想される高齢化社会を見据え、「生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をはかる教育を推進し、もって、地域社会並びに人類の幸福に寄与する」を教育理念とする医療系大学であります。

地理的には、北海道の広大な石狩平野に位置して、人口175万人を擁する札幌市と河一つ（石狩川）隔てた当別町にあります。札幌からの交通の便は、JR学園都市線の「北海道医療大学駅」で下車、駅のホームに接続した徒歩1分のところで

す。さて、本題に戻りますが、図書館は昭和61年12月に竣工し、それまでの教養部図書室、薬学部図書室および歯学部図書室として別々に運営されていたものを統合しました。

建物は独立した5階建て、延べ面積4,574㎡、図書館長（兼任）1名、図書館員8名（うち臨時職員2名）、蔵書数は約14万冊を備える規模であります。

学内には、平成2年8月に21世紀に向けた大学改革を推進すべく「21委員会」が組成され、新しい教育理念・教育目標、ならびに多くの提言が出されました。その提言の中には、図書館に関係するものも多く、それらを踏まえて、①総合

*Uhachi TAKAGAKI：〒061-02 北海道石狩郡当別町金沢1757.

(1996年2月28日 受理)

図書館機能の充実, ② 学術情報ネットワークの推進, ③ 図書・視聴覚資料の充実と機器整備, ④ 地域社会への開放等を推進すべく努力しております。

具体的には, 平成3年度から図書館のコンピュータシステム化に取り組み, 平成4年度には図書管理システム, 閲覧管理システム, および OPAC による検索を可能にしました。また, 文献情報検索システムとしては, オンライン情報検索, CD-ROM 検索によるサービス等を実施しています。

現在は雑誌管理システムの構築に取りかかり, 業者との度重なる打ち合わせと調整を経て, 今春からデータ入力の開始段階にあります。データの遡及入力には, かなりの日時を要しますが, できるかぎり早期に終えたいものと思っています。

また, 図書館員は少人数のため, 日常業務に追われて余裕がなく, かなりの部分をアルバイト等の力を借りなければならないものと考えます。しかし, この雑誌管理システムができあがれば図書管理システム, 閲覧管理システム等と合せた基本

的な体制は一通り整うことになります。

図書資料は本学が医療系関連学部で構成されている関係から共用等の有利な面もあるが, まだまだ不十分な状況にあり, その充実に努めています。また, 情報化等に伴い従来にはなかった利用者教育等の新たな業務が派生し, 図書館員の負担はますます大きくなるばかりです。当然, 図書館員は新しい知識, 技能を身につけていかなければならないので, 毎年関係機関等が開催する研修会には努めて参加させるようにしています。

なお, 現在進めている学内 LAN との関連など図書館としての課題は山積していますが, 教育・研究を支援する図書館として, 適切な情報をいかに提供するかを意識して対処すべく考えています。

以上, 本学図書館の概略をご紹介させていただきました。これからは加盟館としての責任を自覚し, 加盟館にふさわしい整備・充実を図るべく努力したいと考えます。

今後とも諸先輩の暖かいご支援, ご協力をお願いいたします。